
HERO

石井智大

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

HERO

【Nコード】

N9705Y

【作者名】

石井智大

【あらすじ】

つい最近まで話題になっていた都市伝説「HERO」

もう誰も信じることの無い話

だがそれは実際に存在していた

人々を救い出し

救いの手を差し伸べる「HERO」

しかしそこには想像をはるかに超えた

裏と陰謀があった

果たして本当に人類にとっての「HERO」なのか

それとも……

第一話 「HERO」

・・・・・・・・シーツ・・・・・・・・ドン！！

赤い空と荒れ果てた地にまた一つの爆音が響く。人々は逃げ惑い、錯乱し、恐れ、狂喜する。

「誰かこの子を！！」

人ごみの波に身を任せながら逃げていた五十嵐 修一（イガラシ シュウイチ）は、そのわずかな叫び声に気づき、振り向く。そこには両足が無く、血まみれになった男の子を抱いている女性の姿だった。

ただその一瞬の間後に、また人の流れが押し寄せ、走り続ける。ただ逃げることしかできなかった。

逃げることしか・・・・・・・・

・・・
どこからか声がする

・・・修一！！

突然の怒鳴り声に毛布を蹴飛ばし、
飛び起きる。

「いつまで寝てるの！！あんた今日から
三年生でしょう」

そう・・・今日から高校三年生になるのだ。
今まで何事無く生活が続け、過ごして
きた高校生。世間から言うに、いたって
『普通』の17歳だ。

「まったく、そろそろ自分で起きるよう
にきなさいよ。」

うちの母は・・・毎日毎日ガミガミと
怒ってくる。これもいたって『普通？』
の母親だ。

早速支度をし、学校へと向う。

その途中、後ろから二人に声をかけられた。

「おはよーさん修」

あいさつしてきたのは荒木 隼人

(アラキ ハヤト) お調子者で、

どこか気の抜けた雰囲気だが頼り
になる親友。幼馴染だ。

「おっはよー修」

もう一人は藍川 茜（アイカワ アカネ）昔から気が強い性格で、昔からいじめっ子の男子をよく泣かしていた。そして意外な特技が一つ。茜にパソコンを持たせれば右に出る高校生はまずいないほどの天才（あるいはただのパソコンオタク）なのだ。

「ねえねえ。例のヒーローについての話なんだけどさ……。」

茜がそう話すと

隼人が突っ込んできた。

「お前またその話か。」

「けどあんただって前までHEROの話してたじゃん。」

「前ってお前それ中学ん時の話だろう。」

今の小学生でもマジになって話してねーぞ。」

「けどHEROは……。」

今二人が話をしている『HERO』

これは誰もがよく知っている都市伝説になっているものだ。

今まで事故や家出で行方不明になっていた人が突然戻ってきたというものだ。そして帰ってきた人々には二つの共通点があった。

一つは、

「HEROが助けてくれた」

「HEROが救ってくれた」

そう戻ってきた人々は話し、口にする。

そしてもうひとつは、行方不明になった

前後の記憶がなくなっていることだ。

このHEROの話は約5年前に話題になっていた。

今では流行語のように消えている話になっている・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9705y/>

HERO

2011年11月29日03時48分発行